

事業所名

多機能型事業所フェローLabo

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

20日

法人（事業所）理念		私たちは、豊かで自立した人財に成長します。仲間として信頼し合い、助け合います。ITを活用するプロ集団となります。そして、社会とお客様へ貢献します。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとりに合ったペースで成長をサポートし、「自分らしさ」を大切にします。 「IT」と「遊び」を活用して、子どもたちの表現の幅を広げていきます。 他者との関わりを楽しみながら学ぶ場を提供し、子どもたちの「できた」を増やし、「やりたい」を引き出します。 							
営業時間		平日 土曜、祝日、 長期休暇	10 10	時 00	分から 18 16	時 00	分まで	送迎実施の有無	(あり) なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時には、検温・目視による健康観察を行う。気になることがあれば、すぐに保護者へ連絡を行い、対応を確認するとともに経過観察を行う。 体調不良の際には、スタッフに自己申告ができるよう、適宜声掛けを行う。 食事前やトイレ後等、必要に応じて手洗いや手指の消毒を行えるよう声掛けを行います。 連絡帳にて、家庭や学校での様子の共有を行い、安心して過ごしてもらえるよう家族との連携を図る。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> IT活動の際には正しい姿勢で活動に参加できるよう見守りと声掛けを行う。 休日には公園活動への促しを行い、体を動かす機会を作る。 PCやiPadの使い方を学ぶ中で、手先の運動・感覚や操作性の向上に繋がります。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 独自で行っている目標達成カードを活用し、自分で立てたスケジュールや目標を意識して過ごせるよう支援する。 1日の終わりにはスタッフと一緒に振り返りを行い、達成したところとそうでないところを伝えていくことで、自己認知の機会に繋げていく。 個別でタイマー、視覚支援ツールを活用し、時間を意識したり、見通しを持って過ごせるよう支援する。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 場面にあった言葉遣いや表現、声の大きさの調整ができるよう支援する。 言語のコミュニケーションだけでなく、手話やジェスチャー、視覚支援ツールを活用し、表現手段を増やしていけるよう関わっていく。 必要に応じてスタッフは声掛けやアドバイスをし、子どもたちの見本となるコミュニケーションを意識する。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内のあるルールや約束を子どもたちに伝え、その中で楽しみながら過ごすことができるよう支援する。 スタッフや他者への挨拶、身辺自立に向けた整理整頓の声掛けを行う。 座席を決めることで、他者と関われる環境設定を行い、一緒に遊べる機会を作る。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者さんのご家庭の様子や困りごとの聞き取りを行い、助言を行っている。 年齢に応じた進路選択の相談も行っていく。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校やフリースクール、他事業所と連携し、必要に応じて担当者会議に参加するなど、支援の方向性を定める。 本人や保護者との面談を通じ、必要に応じて各連携機関との橋渡しを行う。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 適宜学校側との連絡・情報共有や関係各所との支援会議を行っている。 休日や長期休暇には地域の公園で活動する時間を作っている。 年に1度、地域の方々が参加できる秋祭りを開催している。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止研修、身体拘束適正化、感染症/自然災害BCP、避難訓練を社内実施中。ケーススタディなど福祉支援に関する社内勉強会の実施や外部研修にも参加している。 		
主な行事等		初詣・書初め、節分、フェロー放課後等デイサービス卒業式、お花見、ハロウィン、スマイルプロジェクトin秋祭り、クリスマス会（その他、お料理イベントや工作イベント等も定期的に行っている。）							